

第44回 U-11 少年サッカー大会茨城県大会 県西地区予選実施要項 (案)

1. 主 催： (公財) 茨城県サッカー協会
2. 主 管：公益財団法人 茨城県サッカー協会 第4種委員会

3. 後 援：公益財団法人 茨城県スポーツ少年団本部

4. 茨城県大会について：<参考>

抽選会 : 2023年1月14日(日)

第1日目：1月21日(日) 1回戦・2回戦 県内16会場

第2日目：1月28日(日) ベスト16・準々決勝 県東地区

第3日目：2月4日(日) 準決勝・決勝 県東地区

県西地区代表：11チーム

5. 県西地区予選日程：

第1日目：12月3日(日) リーグ戦(予備日：12月10日(日))

第2日目：12月10日(日) 代表決定リーグ戦(予備日：12月16日(土)17(日))

会場については、抽選会時に決定

6. 参加資格：

- ①2023年度日本サッカー協会第4種に登録(団体・選手共)済みであること。
- ②チーム編成は、加盟登録した団体に所属する小学校5年生以下の選手とする。
- ③エントリー選手は20名以内とする。ただし、5年生のみで20名を超えるときは登録は認める。
- ④地区大会から本大会に至るまで同一参加選手が異なる「加盟チーム」への移籍後、再びこの大会に参加することはできない。
- ⑤有資格審判員を2名帯同できること。
- ⑥スポーツ傷害保険に加入済みであること。
- ⑦参加選手は健康であり、保護者の同意を得ること。
- ⑧引率指導者はチームを掌握する責任ある指導者であること。また、ベンチ入りするチーム役員の内1名以上がJFA公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有し、常時ベンチ入りできること。

7. 大会形式：

(1)参加チームを各ブロックに分けリーグ戦を行う。

(2)順位決定 : リーグ戦の順位決定は、勝ち点(勝ち3点・分け1点・負け0点)の多いチームを上位とする。勝ち点の合計が同一の時は次の順により決定する。

①得失点差の多いチーム

②総得点の多いチーム

③当該チーム同士の対戦成績

④PK方式(PK方式は2チームの時行い、それ以外は抽選とする)

1日目 リーグ戦方式で順位を決定し、各組1位が県大会出場チームとする。

6チームリーグの場合は、3チーム同士のリーグ戦を実施後1位同士による代表決定戦を実施し、勝者が県大会出場チームとなる。敗者は、2日目代表決定リーグ戦へ出場する。

4, 5チームリーグの場合は、総当たりのリーグ戦を行い、1位が県大会出場チームとする。2位チームは2日目代表決定リーグ戦へ出場する。

2日目 代表決定リーグ戦

組合せは、1日目リーグ戦のブロック名の枠をそのまま採用し、リーグ組分けを行う。

(ABCD)(EFGH)4チームによるリーグ戦で各組1位が県大会出場チームとする。各組2位

同士による代表決定戦を実施し、勝利チームは県大会出場とする。決定戦において同点の場合は、PK方式により決定する。

8. 競技規則：本大会要項に定められている事項を優先し、当該年度の（公財）日本サッカー協会「8人制競技規則」による。ただし、「8人制競技規則」に記載がない場合は2021/2022年サッカー競技規則による。

9. 競技規定：以下の項目については本大会の規定を定める。

①フィールドの大きさ：68m×50mを基本とする。

ペナルティーエリア=12m

ペナルティーマーク=8m

ペナルティーアーク=半径7m

センターサークル=半径7m

ゴールエリア=4m

ゴールの大き=少年用（W5m×H2.15m）

交代ゾーン=ハーフウェーラインから左右3m

②試合球は公認4号球とする。（各チーム持ち寄りとする）

③試合時間：30分(前後半各15分)又は40分(前後半各20分)とする。

ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)：原則5分間

ペナルティキック方式に入る前のインターバル：原則1分間

④審判員：1人の主審と第4の審判員1人及び副審判員2人で運営する。

⑤メンバー表：各試合開始30分前までに本部へ1部提出する。

メンバー表にはベンチ入りするJFA公認指導者ライセンス保有者の名前を記載し提出する。

⑥競技者の数：8名（8名に満たない場合は試合を行わず、得点0対3とし敗戦したものとみなす。

試合途中で怪我等による人数不足により8名に満たなくなった場合には、そのまま続行する。）

⑦交代できる競技者数：8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。（交代要員はユニフォームと異なる色の上着（ビブス等）を着用すること）

⑧競技者が交代要員と交代する場合、次のとおり行う。

・交代が行われることについて、事前に審判員に通知する必要はない。

・交代して退く競技者は交代ゾーンからフィールドの外に出る。

・交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。

・交代は、ボールがインプレー中またはアウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

・ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合停止中に入れ替わることができる。

⑨ベンチに入ることの出来る人数：交代要員8人以内、役員2名以上3名以下。

（これに反した場合には、チーム役員に対し大会規律委員会より懲罰を科す）

なお、役員3人のうち1人以上がJFA公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有する事。

⑩負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場できる人数：2名以内

⑪テクニカルエリアを設置する。

10. 懲 罰：

警告①警告処分：本大会の異なる試合で警告を2回受けた者は次の試合に出場できない。

退場②退場処分：次の試合に出場できない。以後の処置は大会規律委員会に委ねる。

競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。

③退席処分：ベンチ（監督・コーチ・役員他）が判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に、再度同様な行為があった場合は、主審の判断により警告・退場処分とし、退場の場合は施設内にいること

を認めない。その後の処置は大会規律委員会に委ねる。

- ・大会規律委員会は（公財）茨城県サッカー協会第4種委員会県西地区委員長の元、理事及び役員で組織する。
- ・（公財）茨城県サッカー協会諸規程および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。
- ・地区予選から県大会までは懲罰規程上同一競技会であり、地区予選終了時点で退場・退席による未消化の出場停止処分は県大会において順次消化する。（県大会も懲罰規程上の同一競技会とみなし、同様な取扱となる）

11.ユニフォーム：

- ①ユニフォーム（シャツ、ショーツおよびソックス）は、正のほかに副として、正と色彩の異なり判別しやすいユニフォームを用意し、各試合に必ず携行すること。また、フィールドプレーヤーがゴールキーパー時に着用するピブスについては、正・副ユニフォームと色彩の異なるものを用意すること。
- ②フィールドプレーヤーがゴールキーパーとして出場するときは、フィールドプレーヤーのユニフォームにピブス着用での対応を可とする。ただし、ゴールキーパーがフィールドプレーヤーとして出場するときは、フィールドプレーヤーのユニフォームを着用すること。
- ③ユニフォームの決定は主審が両チームの立ち合いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。また、主審は両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ・ショーツ・ソックスのそれぞれについて、判別しやすい組合せを決定することができる。
- ④ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ⑤アンダーシャツの色は問わない。ただし、チーム内で同色のものを着用する。
- ⑥アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし、チーム内で同色のものを着用する。
- ⑦シャツの前面・背面にはエントリー用紙に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号については付けることが望ましい。
- ⑧ユニフォームの色、選手番号はエントリー用紙提出以降の変更は認めない。
- ⑨その他の事項については（公財）日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に従うものとする。

12. 参加申込：

「エントリー用紙」4部および「個人情報及び肖像権利用に関する同意書」1部は地区大会抽選会時に地区事務局へ提出する。各地区茨城県大会出場チームのエントリー用紙2部及び地区予選出場全チームの「個人情報・・・同意書」については、地区事務局が取り纏めのうえ、茨城県大会抽選会時に大会事務局へ提出する。（県大会出場チームにおいては、同意書を再提出頂く事もあります）

13.抽 選 会：2023年11月18日（土）

開 会：午後6時（受付開始：午後5時30分から）

会場名：坂東市猿島公民館 講堂

住 所：茨城県坂東市山2730

※抽選会はチーム責任者の出席をお願い致します。

14.そ の 他：

- ①チームはエントリー選手の選手証(写真貼付されたもの)を試合会場に持参すること。不携帯の選手は当該試合への出場を認めない。（web my ページから出力された選手証(写真貼付されたもの)チーム一覧表でも認める。）
- ②第1試合競技開始時間の50分前に代表者ミーティングを開催する。代表者ミーティングにおいては、**選手証、帯同審判員審判証の確認**(スマホ対応可)、**指導者ライセンス証の確認**(スマホ対応可)、競技規定の確認、ユニフォームの決定(**正副ユニフォーム、着用ピブスを持参すること**)、諸注意事項の説明

等を行う。

③有資格審判員 2 名が帯同出来ない時、指導者ライセンス保持者が帯同出来ない時、代表者ミーティングに遅刻した時は、失格とする。失格の決定は代表者ミーティングで決定すること。

※失格するチームがある時の順位の決定

①失格のチームを除いた試合結果により順位を決定する。

②失格のチームは既に決められた日程での試合を行うことを義務付ける。

④ベンチに入る JFA 公認指導者 D 級コーチライセンス以上を有する役員は、JFA 公認指導者ライセンス証(写真添付されたもの)を透明なケースに入れ、首から下げて、試合開始前整列時から試合終了時まで掲示すること。透明なケースは各チームが準備し携行すること。(ケースのサイズや色彩は問わない)

⑤審判員は試合開始整列時にベンチ入り役員の JFA 公認指導者ライセンス証を確認する。

⑥主催者側は大会中の事故、けが等について一切の責任は負いません。

⑦大会予備日の扱いについては、学校行事(運動会、文化祭、授業参観など学校で行われる行事)による参加不可が発生した場合及び天候不良(WBGT31°以上、台風、浸水、積雪等)による会場使用・利用不可となった場合にのみ活用する事とする。

⑧大会開催中の天候による事故防止については、別紙運用規定を適用する。

⑨本文書の大会要項については、県西地区大会にのみ有効になります。茨城県大会については、県大会用の要項に基づいて実施されます。

問合せ先：(公財)茨城県サッカー協会第4種委員会 県西地区事務局

相澤孝之(メール：yurakira33@gmail.com 電話：090-1651-7306)

雷雨・雷光・落雷・熱中症事故防止対策の運用規程（案）

（公財）茨城県サッカー協会

第4種委員会県西地区

（目的）

この規程は、茨城県サッカー協会第4種委員会県西地区での各種大会期間中における雷鳴・雷光・落雷時及び熱中症に関する安全対策の運用を目的とする。

（基本指針）

各種大会の試合中において落雷の予兆（雷鳴・雷光）があった場合及びWBGT計にて31度を超えた場合は、速やかに試合を中止し、危険性がないと判断されるまで競技者及び関係者を安全な場所に避難させるなど、常に安全確保を最優先とする。

（判断）

試合の中断／再開、中止／再試合の判断は、以下のとおりとする。

試合成立条件：前半終了時点で試合成立とする。同点の場合は、両チームによる抽選によって結果を決める。この試合の結果がリーグ戦の順位に影響する場合（PKによる決定）については、抽選による決定に変更する。

- （1）落雷の予兆（雷鳴・雷光）及びWBGT計31度を超えた場合、主審は試合を開始しない。また試合中においては中断をする。
- （2）試合開始もしくは再開する場合、雷鳴・雷光が止んだ後、及びWBGT計31度を下回って気象情報等をみて安全確認をしてから試合開始もしくは再開する。

再開方法は以下の通り。

※主審は、試合を止めた時間、ボールの位置、保有していたチームを記録する事

試合の再開方法

主審及び会場責任者が中断時の試合状態（時間、場所、ボール保有チーム）を把握し、その条件で再開させる。

- ・インプレー時に中断した場合は、主審がプレーを停止した時にボールがあった位置から、最後にボールを保持していたチームの競技者の1人にボールをドロップする。
- ・アウトオブプレー時に中断した場合は、その時の再開方法によりプレーを再開させる。

- （3）試合中止の判断は、中断の間に当該試合の主審と会場責任者の話し合いにより決定する。
- （4）試合開始後に中断・中止となった場合、前半が終了していれば試合は成立したものとみなし、中止時点での結果を最終結果とする。ただし、前半が終了していない場合は、再試合を行う。後半戦途中で中断した場合に当日中に天候の回復が見込めない為中止となった場合は、後半の試合内容は無きものとし、前半終了時点での結果を最終結果とする。
- （5）中止と判断した試合の再試合実施の日程及び会場等については、両チームの予定等を調整し、県西地区役員会において協議のうえ、県西地区委員長が最終決定する。

再試合の進め方は以下の通り。

試合出場選手は、エントリー表に記載された選手である事（メンバー表は再試合当日提出する）。

- ・中断時の試合状態に関わらず、最初から試合を行う事とする。

- （6）再試合出場チームは、協議結果を遵守し、実施する事。

附則：この規程は、2023年 月 日から施行する

茨城県第 4 種委員会 ユニフォームに関する考え方について

■ 競技者のアンダーウェアについて

・アンダーシャツの着用は、ユニフォームの袖の主たる色と同色を基本とするが、チーム内で同色のアンダーシャツであれば、ユニフォームと異色であっても着用を認める。

アンダーショーツも同様の考え方とする。尚、チーム内に、着用している競技者と着用していない競技者がいても構わない。

・アンダーシャツを着用する場合、丸首・Vネック等の形状は特に規定されているものではないため、形状が異なるアンダーシャツを着用している競技者が混在していても構わない。いずれもチーム内で同色のものであればよい。

・アンダーウェアの製造メーカーが異なる場合でも着用を認める。いずれもチーム内同色のものであればよい。また、アンダーウェアが相手チームのユニフォームの色彩と類似している場合、別の色のアンダーウェアに変更することが望ましいが、その対応が難しい場合、両チームが同意のもと、色彩が類似しているアンダーウェアの着用を認める。

■ ゴールキーパーのユニフォームに関して

・大会登録しているゴールキーパーがフィールドプレーヤーとして試合に出場する場合、ゴールキーパー登録と同じ番号のフィールドプレーヤーのユニフォームを着用すること。

・フィールドプレーヤーがゴールキーパーとして試合に出場する場合、フィールドプレーヤーのユニフォームの上からビブス着用でよい。尚、その際のビブスに付いている番号は問わない。

・ゴールキーパーのユニフォームについて、試合当日の持参は基本であるが、大会登録しているゴールキーパーが試合当日に欠場となる場合、ゴールキーパーのユニフォームは持参しなくてもよい。（ユニフォームの管理をチーム一括管理ではなく、各家庭において管理しているケースが多いため）尚、このケースでは、試合前のマッチミーティングにゴールキーパーのユニフォームが持参できないため、ビブス着用での対応を認める。ただし、相手チームとユニフォームの調整を行うため、色彩の違う 2 色のビブスを持参すること。

■ ユニフォームの張り番号の取扱いについて

・「ユニフォームには番号が明確に表示されていなければいけない」

よって、競技者が着用するユニフォームの番号を張り番号にすると、複数名が張り番号の場合は、チーム内統一でユニフォームと同じ色の生地と同様の書体の番号を張り付け、生地の 4 辺から手指等が入らないように安全に縫いつけられたものが望ましい。尚、張り番号が 1 名の場合は、生地の 4 辺が安全に縫いつけられていれば、生地の色や番号の書体は問わない。

ベンチ入り役員有資格者制 導入計画

2023.4.1

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
1	全日本・学年別 デポCUP大会	ベンチに入ることのできる役員は2名以上3名以下、ベンチ入り役員のうちJFA公認指導者D級コーチライセンス以上保有者「1名以上」とする。同役員2人目・3人目はJFA公認指導者D級コーチライセンス以上保有者またはJFA公認審判級保有者が「望ましい」。	同左	同左	同左	ベンチに入ることのできる役員は2名以上3名以下、ベンチ入り役員のうちJFA公認指導者D級コーチライセンス以上保有者「1名以上」とする。同役員2人目・3人目はJFA公認指導者D級コーチライセンス以上保有者またはJFA公認審判級保有者のいずれかとする。
2	JFA U-12サッカー リーグ (U-11・U-10 含む)	ベンチに入ることのできる役員は1名以上3名以下、ベンチ入り役員のうちJFA公認指導者D級コーチライセンス以上保有者またはJFA公認審判級保有者のいずれか「1名以上」とする。	ベンチに入ることのできる役員は2名以上3名以下、ベンチ入り役員のうちJFA公認指導者D級コーチライセンス以上保有者「1名以上」を義務化する。同役員2人目・3人目はJFA公認指導者D級コーチライセンス以上保有者またはJFA公認審判級保有者が「望ましい」。	同左	同左	ベンチに入ることのできる役員は2名以上3名以下、ベンチ入り役員のうちJFA公認指導者D級コーチライセンス以上保有者「1名以上」とする。同役員2人目・3人目はJFA公認指導者D級コーチライセンス以上保有者またはJFA公認審判級保有者のいずれかとする。

(公財) 茨城県サッカー協会第4種委員会

JFA全日本U-12サッカー選手権(略称：全日本)の都道府県大会については、2024年度よりベンチ入りする全ての役員はJFA公認指導者D級コーチライセンス以上保有者を義務化することに伴い、学年別大会、デポCUP大会も同様な取り扱いとする。

JFA U-12サッカーリーグについては、上記表の通りとする。

「有資格者」とは、JFA公認指導者D級コーチライセンス以上保有者またはJFA公認審判級保有者を示す。

どんなにそれが大変であっても、100年の歴史の中でどこかでやらなければならないとしたら、我々の世代でやってみよう。

子どもたちのために Players First

JFA Technical news 抜粋